

ささえあい とともに生きよう 鳴尾西

第7次計画の振り返りや自治会へのアンケートなどから地域の良いところや課題などを出し合い、鳴尾西地区ネットワーク会議で第8次計画について協議し鳴尾西分区の取り組みをまとめました。



重点取り組み

I. つながりづくり

地域のつながりが希薄になってきています。まずは、地域の人同士が顔見知りになり近所づきあいができる関係づくりを目指します。

1. 住民のゆるやかなつながりづくり

- ① 日常のあいさつを大切に、つながりをつくれます。
- ② 行事やあんしんキットなどを通してゆるやかなつながりづくりを行います。

2. 身近な場でのつどい場

- ① 自治会ごとのふれあい・いきいきサロンやいきいき体操などの継続と充実を行います。
- ② 身近な場での集まれる機会やイベントの拡充

3. 地域の施設との連携

- ① 福祉施設や作業所との連携をします。

II. 支える力づくり

地域で孤立しがちな人への支援について協議し、見守りや支援活動につなげます。

1. 地域での「あんしんづくり」の協議を継続実施

- ① 地区ネットワーク会議での、各自治会や専門職との情報共有と「あんしんづくり」の協議を継続して実施します。

2. 西こだま（地区ボランティアセンター）を中心とした相談や支援につなげる仕組みづくり

- ① 地域の相談窓口として西こだまの活性化（相談機能の充実）をはかります。
- ② 地区ネットワーク会議と連携しながら支援活動などにつなげていきます。

III. 多様な人や参加の機会づくり

地域住民が世代関係なく、活動に参加できるように活動内容の工夫や機会をつくれます。また、どんな活動があるかPRの充実につとめます。

1. 参加し、知る機会をつくる

- ① 様々な世代が参加しやすい活動内容や参加方法を検討します。
- ② どのような活動があるかなど「分区だより」などさまざまな媒体を通してPRをしていきます。

2. 福祉学習の実施

- ① 小中学校での福祉学習と連携し、子供のときから地域の活動者や活動を知る機会をつくれます。
- ② 地域住民に向けての福祉講座などを通して関心を持つ人を増やします。

具体的にこんな取り組みはどうか？

第8次計画の重点取り組みについて鳴尾西地区ネットワーク会議や福祉協力員懇談会などで、具体的な取り組みの意見がでました（一部抜粋）。

分区で福祉講座を開催して、地域住民に関心を持ってもらうのはどうだろう。

若い人の参加には、何か資格制度やカウンセラー的な活動をお願いして地域に巻き込んでいくのはどうか？

グループホームや作業所ができてきている。そこともつながっていきことができるのでは。ランズフェスティバルのように

犬の散歩で、犬に声をかけながら知り合いを増やし、声かけをしていく。

回覧板をうまく活用できる方法を考える。ポストではなく、手渡し。

ボランティアセンターに何を相談していいかわからない人もい。どんな相談をしたらいいかわかるようにする。

男性が参加しやすい、男性のサロンが必要ではないか。

子どもの見守りから散歩をしている高齢者への声かけ

子ども会の呼びかけで地域の保育園（認可外）との散歩を検討中。小さい子供と地域がつながる。今後、子供会の力を活用してはどうか。

子供会のイベントや夏祭りで横のつながりづくり・多世代交流。

見守りとして、引きこもりの独居老人にお弁当を配っている。顔を覚えてくれて、外であっても声をかけてくれるようになった。

介護者が話せる場があったらいいのでは



第8次地区福祉計画の策定経過

- 地区ネットワーク会議を中心に検討を進めました。主な協議内容や意見は下記のとおりです。

第1回 平成26年9月24日(水)

内容：第8次地区福祉計画について

<策定方法と意見交換>

- ・ 第7次計画期間は、自治会ごとに活動してきた経過がある。第8次計画を考えるには、まず7次計画の振り返りが必要。
- ・ 自治会ごとに第7次計画の評価を実施する。

第2回 平成26年12月3日(水)

内容：第7次地区福祉計画に関する各自治会の評価について
第8次地区福祉計画策定にむけて

<出た意見>

- ・ 地域でひきこもり（40代～60代）の人が増えている。
- ・ 手を上げてくれる人は良いが、シャットアウトする人がいる。どんな人がいるか把握し、そっと見守ることも大切。
- ・ どのようにして「ひきこもり」や「閉じこもり」の人を外に出してもらうか。

第2回 平成27年2月4日(水)

内容：第8次地区福祉計画について

- ・ どんな活動をすすめていけばいいか
- ・ キーワード

<出た意見>

- ・ ボッチャやあんしんキットでゆるやかなつながりづくり。
- ・ 自治会ごとのイベントや交流の場づくり。
- ・ 興味のある催しをする。

第4回 平成27年6月21日(水)

内容：福祉目標を設定

第8次地区福祉計画でのおもな活動について

<出た意見>

- ・ 福祉目標⇒「共に生きる」「ささえあう」
- ・ あいさつ、顔見知りをつくるきっかけづくりが大切。
- ・ 議論でえた情報をもとに地域で支える。
- ・ 来てくれるのを待つだけでなく、出ていく取り組み。

●ネットワーク会議以外での意見抽出など

平成26年度福祉協力員懇談会（平成26年7月30日）

- ・ 1人暮らしだけでなく、高齢者世帯も不安を抱えている。
- ・ 三世代交流などで活性化が必要
- ・ サロンにもっといろんな人が来てもらえる工夫が必要

平成26年度地区懇談会（平成26年9月29日）

- ・ 地域の学校にいる時は声をかけ合えるが、大人になると関わりが薄くなる。
- ・ 障害のある人がどこにいるか情報がない。